



季節を知ったら  
暮らしが楽しくなった

（第二六三号）

小雪 十一月二十二日

## 全日本大学駅伝

秋晴れに恵まれた十一月五日、薄らと紅葉が始まる伊勢路を舞台に第四十九回全日本大学駅伝が行われました。なんとといっても今回は、地元の皇學館大学が初出場し、十七位という健闘に大いに盛り上がりました。先頭の一区では、優勝候補の青山学院より上位の九位という奮闘ぶりでした。

この全日本大学駅伝は、正月の箱根、十月の出雲と三大大学駅伝に数えられる大会。熱田神宮から伊勢神宮までの八区、一〇六、八キロを襪すけでつなげます。皇學館大学は創部十年目で東海地区選考会二位となり、本選に初出場になったのです。

また、今回話題となったのが、駅伝の名付け親が神宮皇學館六代館長の武田千代三郎ちよさぶろうであったということ。駅伝はもともと古代の交通制度を指す言葉で、日本でも中国の唐に倣って、公用の旅行や緊急の通信のために三十里（約十六キロ）ごとに駅を設け、駅馬や伝馬でんまを置く制を律令で定めました。古い時代の馬による伝達や交通の制度を、長距離のリレーレースに名付けられたのは、大正六年（一九一七）、東京遷都五十周年を記念した京都から東京までの「奠都記念駅伝徒歩競争」から。当時、大日本体育協会副会長であった武田が名付け親というのです。ただ、駅伝を主催する読売新聞社の土岐善磨とぎぜんまろ社会部長とする説もあります。

武田は、『理論実験競技運動』を著すなど、運動競技の発展に尽力した人物で、内宮前の館町から倉田山に移転した大学に当時としては画期的な一周三百メートルのグラウンドの整備を図っているほどです。

学生たちは来年の五十回記念大会出場へ向けて、早くも広い大学グラウンドでがんばっていることでしょう。

文 千種清美



# おかげの里便り

おかげ横丁

## ○ 歳の市

しめ縄作りや餅つきなど、昔ながらの風習に触れる、お正月のことはじめ「歳の市」を開催いたします。家族揃って、お正月の準備をしてみませんか。

と き／12月16日(土)～28日(木)

10:00～17:00 ※催しによっては、開催日時が多少異なります。

ところ／おかげ横丁 一帯

## ● お正月の支度市

新春には欠かせないしめ縄やカレンダー、ポチ袋など、お正月の暮らしを彩り、味わいを深める品々を取り揃えます。

と き／12月9日(土)～20日(水) 9:30～17:00

ところ／赤福別店舗

## ● お正月のお飾り市

縁起よく新年を迎えていただくための、しめ縄や松竹梅の鉢植え、ミニ門松などのお飾りが並びます。

と き／12月16日(土)～28日(木) 10:00～17:00

ところ／おかげ横丁内「赤福別店舗側特設屋台」

五十鈴塾

## ○ 月読四宮の歴史について

伊勢市中村町にある月読宮は月読宮尊を祀るお宮です。

その右側には月読尊荒御魂を祀る月読荒御魂宮、左側には伊佐奈岐宮、伊佐奈弥宮がご鎮座されています。

月読尊は天照大御神の弟神といわれていますが、月の世界を支配する神、夜の世界の神、月との関連から海の世界を統べるともいわれ謎の多い神様です。神話にもほとんど登場しませんし、月読尊を祀る神社もありません。しかしなぜか人気は抜群の神様です。

今回はこの月読宮と父神、母神が祀られる2社の歴史についてお伺いします。

と き／11月24日(金) 13:30～15:00

講師／音羽 悟 (神宮司庁広報室広報課課長補佐)

参加料／一般1,300円 会員800円

ところ／五十鈴塾右王舎

※お問い合わせ 0596-20-8251

五十鈴茶屋

## ○ 節気菓子

きざんか  
山茶花 こし餡を山芋入りの練りきりで包み、色・味ともにさらりと品よく仕上げた、初冬の花の便りです。

じょうま  
みさか薯蕷 お酒と麴を加えた山芋の生地で、粒餡を包みました。餡の甘みにほんのり酒粕が香る、上品な味わいが特長です。

ざんなんもち  
银杏餅 银杏の素朴な風味を生かして、粒餡とともに餅皮で包みました。そろそろ冬支度にかかる、里の晩秋を感じさせます。